

内容構成及び県正答率(小学校国語 第5学年)

問題番号	学習指導要領の内容	内容	評価の観点					出題のねらい	県正答率 (%)	
			1	2	3	4	5			
1	(1)	5・6年A(1)イ	聞き取り	○	◎				話し手の意図を考えながら、話の内容を聞くことができる。	97.4
	(2)	5・6年A(1)イ		○	◎				話し手の意図を考えながら、話の内容を聞くことができる。	84.7
	(3)	5・6年A(1)イ		○	◎				話し手の意図を考えながら、話の内容を聞くことができる。	81.1
2	(1)	① 3・4年言語(1)イ(ア)	漢字の読み					◎	第3、4学年配当漢字を読むことができる。	95.1
		② 3・4年言語(1)イ(ア)						◎	第4学年配当漢字を読むことができる。	82.4
		③ 3・4年言語(1)イ(ア)						◎	第4学年配当漢字を読むことができる。	97.5
	(2)	① 3・4年言語(1)イ(ア)	漢字の書き					◎	第4学年配当漢字を書くことができる。	69.5
		② 3・4年言語(1)イ(ア)						◎	第4学年配当漢字を書くことができる。	85.1
		③ 3・4年言語(1)イ(ア)、同ウ(ア)						◎	第4学年配当漢字を書くことができる。	75.0
3	(1)	3・4年言語(1)エ(イ)、同ウ(ア)	辞典の使い方					◎	理解するために必要な語句について、辞書を利用して調べることができる。	54.6
	(2)	3・4年言語(1)エ(イ)						◎	理解するために必要な文字について、辞書を利用して調べることができる。	29.2
	(3)	5・6年言語(1)ア(イ)	語句					◎	文脈に沿って、漢字を適切に使うことができる。	64.9
	(4)	3・4年言語(1)エ(ア)						◎	さまざまな語句を用いて表現することができる。	93.5
	(5)	3・4年言語(1)エ(ア)						◎	さまざまな語句を用いて表現することができる。	83.3
	(6)	3・4年言語(1)オ(ア)	文の組み立て					◎	文の構成について理解することができる。	85.2
	(7)	3・4年言語(1)オ(ア)						◎	文の構成について理解することができる。	62.4
	(8)	3・4年言語(1)イ(ウ)	ローマ字の読み、書き					◎	簡単な単語についてローマ字で表記されたものを読むことができる。	58.1
	(9)	3・4年言語(1)イ(ウ)						◎	簡単な単語についてローマ字で書くことができる。	56.1
4	(1)	3・4年C(1)イ、同ウ	文学的な文章					◎	叙述を基に情景を想像しながら読むことができる。	61.4
	(2)	5・6年C(1)ウ、◆5・6年言語(1)ウ(エ)						◎ ○	心情や場面についての描写など、優れた叙述を味わいながら読むことができる。	81.6
	(3)	5・6年C(1)ウ						◎	心情や場面についての描写など、優れた叙述を味わいながら読むことができる。	62.8
	(4)	3・4年C(1)イ、同ウ						◎	叙述を基に情景を想像しながら読むことができる。	60.3
	(5)	5・6年C(1)ウ						◎	心情や場面についての描写など、優れた叙述を味わいながら読むことができる。	60.0
5	(1)	5・6年C(1)エ	説明的な文章					◎	書かれている内容について、事象と意見の関係を押さえながら読むことができる。	51.3
	(2)	5・6年C(1)イ						◎	目的や意図に応じて、文章の内容を的確に押さえながら読むことができる。	57.0
	(3)	5・6年C(1)イ						◎	目的や意図に応じて、文章の内容を的確に押さえながら読むことができる。	75.4
	(4)	5・6年C(1)イ						◎	目的や意図に応じて、文章の内容を的確に押さえながら読むことができる。	70.4
	(5)	5・6年C(1)イ						◎	文章の内容を的確に押さえながら、要旨をとらえることができる。	77.6
6	(1)	3・4年B(1)イ	作文	○	◎				書く必要のある事柄を選択することができる。	72.7
	(2)	① 3・4年B(1)ウ、◆3・4年言語(1)オ(イ)		○	◎		○		自分の考えが明確になるように、段落相互の関係を考えることができる。	48.3
		② 3・4年B(1)ア、同エ ◆5・6年B(1)エ		○	◎				事象と感想を区別し、書こうとするものの中心を明確にし、段落と段落の続き方に注意し、相手や目的に応じて適切に書くことができる。	53.5

評価の観点 1 国語への関心・意欲・態度 2 話す・聞く能力 3 書く能力 4 読む能力 5 言語についての知識・理解・技能
 (注)◎…主たる観点 ○…従たる観点
 学習指導要領の内容 ◆は従たる内容領域を示している。